

宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成26年10月30日（木）9：55～12：05
場 所	宗像市役所 201会議室
委 員	■ 井上豊久 、■ 志岐宏美 、■ 辻洋子 、■ 東博子 、■ 前田誠 ■ 松永年生 、□ 南博 、□ 宮崎弘子 、■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ・協働推進課；村上、福島、合島

1. 会長あいさつ

本日の審議会で、今期最後となる。大変お世話になりました。

《事務局から》

- ・本日の審査会について。協働化事業提案団体の一つに、井上委員が関わっておられる。そのため、1番目の団体の個別審査終了後に採点表を提出し退席。総合審査については一任したい旨の申し出があった。⇒了承
- ・追加資料及び社会教育関係冊子の配布。
- ・審査の進め方の説明

2. 協議事項

（1）市民サービス協働化提案制度審査

①個別審査

◆宗像市成人式事業

提案団体；宗像市青年会議所、担当課；文化・スポーツ推進課

担当課から、現状について説明。

提案団体から、提案事業の概要説明。

担当課から、提案内容についての意見説明。成人式の必要性が議論される自治体もある中で、当市においては、青年会議所が行うことで親近感が増すとともにマナー維持の面で安定が図られ、成人としての自覚や責任を認識することができている。行政が行っていたときは職員総出だったが、現在は必要最小限で済んでおり、安価な経費で充実したスタッフ配置ができている。青年会議所のメンバーには、必要な分野を生業としている者もあり、メリットがある。

《質疑等》

- アンケートや元生徒会長からの意見を取り入れて活かしていくとのことだが、更にもう一歩進んで、何人か集まって会議を開いたりしていないか。

⇒そこまではやっていない。

●アルバムは、学校ごとに相談して作っているのか。実際の二十歳の人といっしょに。
⇒市が作成した趣意書を持って中学校を訪問し、校長若しくは教頭からアルバムを借用して、そこからデータをスキャンして、本来は全員を写したいが、できるだけ良い写真というか、できるだけみなさんが写っている写真で、15 分程度のプロモーションビデオを作っている。当日は、自分たちが映ると歓声があがったりして盛り上がっている。

●成人式の流れについては、ここ何年か一緒なのか。
⇒そんなには変わっていない。

●その中で、アンケートなどを取っているとのことだが、同じ流れの中で、この辺りが意見が活かされたとか、そういうものがあれば聞きたい。

⇒アンケートは、毎年 800 人程度の新成人がいるが、200 人程度に聴き取り調査を行っている。大きなところでいくと、青春グラフィティや特別講演、集合写真などは、6 割以上の方が今の内容で満足しているという答えをいただいている。一番感じているのは、成人式は必要かという設問に対して、86%が必要と回答している。暴れたりする者もいるが、最後の集合写真には必ず写りにくる。そのことから、新成人は成人式を楽しみにしていると言える。また、この 5 年間で改善してきたことは、成人式でなぜ暴れたりするかということ、一つは来賓のあいさつが長い。本当は聞いてもらわないといけないが、青年会議所からの強い要望もあって、市長一人にしている。議員のあいさつを失くすことなどは、いろいろ議論はあったが改善してきた。議員の一人ひとりの紹介を、市が運営していたときややっていたが、今は全体の紹介に変えている。そして素早く青春グラフィティに移って本当の成人式の内容にしていという、そういう場面展開にするようには改善してきている。また、宗像市の特徴として、税金で運営しているということはあるが、記念品を配っていない。そのため住民票がなくても、住んでいなくても当然卒業生は、帰ってきて卒業した場所で同級生に会いたいということが、いつも問い合わせがあるが、そのようなことが全く問題なく受入れることができる。講演について、最近の傾向では話しが面白くないとざわついたりするが、ここ数年はそのようなことが少ない。

●今までの講演者は、どのような人たちだったか。

⇒昨年がナカムラフミアキさん、一昨年がカワハラナオユキさん。昨年の方は起業家、色々なことを頼まれて、頼まれたことは試されることだと言って、自分がやらなければいけないことをやって、人から信頼を受けて会社を大きくしたということをお話しいただいた。一昨年のカワハラ先生は、スーダンで医療活動をされている。リーダーの精神がすごい人で、二千万くらいの給料を全部捨てて、スーダンで無償でボランティア活動をしている。その色々な経験をテレビ映像なども見せながら、成人者の中には涙を流しながら、自分たちも聴きに行ったときはすごく涙を流すような講演をしていただいて、何らかの心に響くものがある講師を選ぶことができたと思っている。他にはクサカベキエさんや福津市在住のボクシング世界チャンピオンのコシモトさんとか、その年々にテーマを作って、バッドボーイズなどは不良から更生したことなど、

何らかのコンセプトをもって、福岡県の出身であったり、心に響くものがある講師を選んでいく。

- 今度は、候補者はもう何人か絞っているのか。

⇒まだ決定はしていないが、何人かとは調整中。来月には決定したい。

- 参加者が年々増えてきているということで、良い傾向だと思う。卒業時の担任の先生なども招待しているのか。クラスごとに盛り上がったり、昔話しに花が咲いたりということ聞いたことがあるので。

⇒今までしたことはないが、来場されていたり手紙や写真を送って来られたり、ということはある。場所を設けて表示している。

問い合わせが市にあっているので、日にちをお教えしたりとかしている。先生にこちらから文書を送ったりとかはしていない。中学校の卒業アルバムを借りに行くが、これも中々個人情報のことなど学校は出せないということもあるが、そこは何年もやっているの、市から公文書を出してこのような理由で使わせてもらいたいということを、ここもまた問題があるが、当時の生徒会の役員の連絡先を教えてくださいにしている。それも教えてくれる所教えてくれない所があるが、そこから新成人代表の方を選んで、成人式の内容を聞いたりしている。

- 子ども達が実行委員の中に入れば良いと思うが、そのような取り組みは難しいか。

⇒当初は、成人式実行委員会があった。新成人が集まって企画して運営していた。私が聞いているのは、それが無くなったのは、募集しても集まらない、それと中々企画というものが難しいというものもあって、もっとも意見を取り入れるということは必要だと思うが、今の運営のやり方は、うまくいっているやり方ではないかと思っている。

- 特別講演が一番大きな内容となっているが、講演者についてもかなり選別されているようで、どちらかというとなれる成人式をやめましょうと、成人式の構成員の意見を聞きましょうと、ちょっとこう、やりますよというし姿勢。そうではなくて、それが必要だが、それ以上に金をかけてやりますと、やるためには、貴方たちはこれから社会の構成員になります、その辺りを講演者を選ぶ際に、もう少し郷土愛とかいうのも必要、それ以上にこの国の現状とかこの国の今置かれた状況とか、そういうものを踏まえながら、どういう風に進んで行ったらよいか、そのようなものがあると、考えさせるというものをいれ込んだ方が、できるかどうか分からないが、そういう考えも必要ではないかと思う。講演者を選ぶときのひとつとしてほしい。

⇒青年会議所が成人式をさせてほしいというときに、自分達大人の背中を見せたいということで、その強い思いがあって、講師を選ぶにあたっては一番そこを重要視している。来賓のあいさつを少なくするとか、新成人がなるべくそういうことをしないようにという配慮とかしているが、中に入ったら厳しい対応をしているので、もちろんアルコールは持ち込ませないとか変な服装の者は入れさせないとか、そういう入場の時のチェックもしているので、必ずしも新成人に対して言う事を聞いているということではない。

- 当日、現地スタッフとして青年会議所と市の職員は、どういう絡みがあるのか。

⇒基本的な運営は、全て青年会議所にしてもらっているが、当然前日の準備とかは行政の担当者と青年会議所の主要メンバーが準備とリハーサルを行う。当日は、青年会議所が 40 人程度のスタッフが来て、市は部長、課長、係長と担当で対応している。来賓の受付等は市が行い、新成人の受け付け、入場は青年会議所にしてもらおう。警備も全て青年会議所で処理してもらっている。司会、運営も、当然リハーサルがあるので市は当日はそこから出るという形でやっている。

- 7 ページの実績報告書の中に、事業の課題に、警備誘導面で改善すべき課題があったと記述があるが、そこを説明していただきたい。もう一点、予算のところで託児所使用料とあるが、どこかを貸し切っているのか、託児所の運営について説明いただきたい。

⇒使用料と書いているが、託児所として使用するスタジオはユリックス使用料に全て含まれている。これは、託児事業者に支払うもの。警備誘導については、改善はしてきているが、新成人はハーモニーホール前のホワイエに集まる。式典が始まる直前までなかなか移動しない。そこをどうやって会場に入場させるかということが、ここ数年の課題だった。当初はイベントホールの 1 階から入れたり 2 階から入れたりしていたが、今は全て一番東側 1 ヶ所にして、そこに誘導していることでスムーズな入場ができています。どうしても 10 時半から始まるにあたって、5 分前でもざわざわしている状況があって、そこが課題と思う。式典などは聴かなくても良いと思っている新成人もいるが、実際はすぐに青春グラフィティなどが始まるので、それが年々新成人にも浸透してきているので。入り口にテレビを置くなどもしている。

ここ数年は、厳しく入場制限をかけるということで、この時間を過ぎると入れなくなるので、早く入るようにと声掛けしている。式典が始まったら 2 階からしか入れなくするように誘導している。

- 21 年度から成人式に関わっているということで、私の子どももこの中に入っていると思ったが、何年かやってこられて、実際に成人者への声掛けもしていただいて、何年か経って子ども達がこういう風になんか変わってきているとか変わらないとか、成人者を見ていて感じる事などはあるか。

⇒講演が良かったとなどを後から聞いたことはあるが、成人式を我々がやっているということを知らなくて会っている場合もあるので、成人式をきっかけにこうなったということは、あまりない。

- 成人式を見ていて、子ども達の様子が変わったとか変わらずとか。

⇒講演を聞いているときには、静かに集中して聞いている人が多い。そこで何らかのものを感じてくれているのではと思う。アンケートでも、講演の感想などを聞いている。

- 過去 5 回やってきて、その都度青年会議所では振り返りや総括をやって、こういう課題がある、こういうことをやったらもっと良くなるとかいう意見交換があると思うが、その中で積み残してきているもの、課題としてある、希望としてあるがなかなかやれないというものの、或いは共通して課題として抱えてしまっているものはあるか。

⇒やはり警備面、誘導の面では、どうしても改善すべきところ、何らかの手法がある

のではと、年々良くはなっているが、求めている姿の 100%までは到達していないと思うので、今年もより式典に参加していただけるのかということは、工夫を凝らしていきたいと思っている。どうしても、久しぶりに会った同級生たちと話が盛り上がるので、アナウンスしても聴いてくれない。そこをどう改善していくかがある。

●ここ 2, 3 年現場を見ているが、そこで同窓会になっている。そこが一番盛り上がって楽しいし、会場よりも楽しいだろう。

⇒会場も楽しいと思われるように、努力していきたい。

●入ればそれなりに青春グラフィティとか講演会とか、アンケート結果から見ると楽しんでいるようだし、色々改善している点もあるので、今話されたようなことを改善していただければと思う。

●ロシナンテスの時などは、一番後ろで聞いていたが、若い人たちがこれだけ集中して人の話を聞けるという姿に、少し感動した

～ 井上委員退席 ～

◆市民活動・NP0 ボランティアセンターにおける市民活動支援並びに協働促進事業

提案団体；むなかた市民フォーラム、担当課；コミュニティ・協働推進課

担当課から、現状について説明。

提案団体から、提案事業の概要説明。

担当課から、提案内容についての意見説明。協働委託を進める中で、お互いの得意分野が分かってきた。双方協議して、行政が行った方が良いものは外して、フォーラムが得意な分野への集中を図った。メンバーが市民活動の経験者なので、情報やノウハウ、ネットワークを駆使してもらうことで、市民活動のきめ細かい支援につながる。今までは団体の目線が多かったが、これからは活動者の目線、市民の目線に立っている。また、フットワークの軽さも重要と思う。

《質疑等》

●17 ページに地域コミュニティという言葉がある。その解釈を教えてほしい。自分は、各自治会という捉え方をしているが、それともコミュニティ運営協議会なのか。

⇒協議会と自治会と全部含めた、いわば小学校単位の地域を捉えている。反対に、自治会だけとか協議会だけという訳ではなく、それぞれに自治会レベルであったり協議会レベルであったり、というパターンがあるかということで、総称している。

●そういうことであれば、地域コミュニティは地域コミュニティ、協議会は協議会と表現した方が分かりやすい。

●今からの事業だと思うが、市民活動紹介のリーフレットということで、若い世代にも市民活動ボランティア活動を広めていくということだが、どのような形でどのような所に発行して、若い人の目につくようにするのか。

⇒今ある市民活動の情報冊子は、表面的なものしか書いていなくて、実際その団体がどういった活動をしているとか、参加する側として受け取れる情報が少ない。かといっ

て、インターネットに掲載する情報も限られている。参加したいと思う方がもっと有益な情報を、そのリーフレットをとおして伝えていきたい。こちらで 10 団体から 20 団体、受け皿があるような団体を特定して、そこに活動に密着しつつ取材をして、1 ページ位使って、どういう活動を日ごろからやっているかとか、メンバーとか、その辺りを細かくリーフレットに記載して発行したいと考えている。

●発行先の場所は。

⇒宗像市内だけではなく、近隣の福津とか宮若とかにも公開してければと考えている。福岡市や北九州市は市民活動団体が多く活発だが、その間の地域は情報が限られている。宗像の周辺の市民活動が盛んな地域にアピールしていきたいと考えているので、広い地域での配布を考えている。

●メイトムや市民団体、コミセンなどに置いてあると思うが、市民層に広げたいということなので、年 1 回でもよいので回覧とかも一つの手かと思う。

●今回新しく提案される事業で、コーディネートルームのリノベーションがあるが、今は確かに殺風景かと思うが、特に予算は上がっていないが、どのようなイメージを考えているのか。

⇒専門の方でボランティアを探して、その方のアドバイスを頂いて、配置換えだけで随分雰囲気は変わると思う。購入となると経費がかかるので、ネットワークも活かして使わない物とかを頂いて、空間を作るというイメージで変えていきたい。今は活動している方が来て打合せに使ったりしているが、そうでない方も、雰囲気が良いということでやって来て、こんなことがある、実は自分もこんなことがやりたかった、これも市民活動の一つなんだと気付いていただいて、活動がより盛んになっていくというところを狙っている。

今ボランティアの考え方でプロボノというものがあって、スキルを持った方を敢えてボランティアで、ということもあって、その仕組みをうまく使いながらボランティアに関わってもらおうということも一つと考えている。

●マルチステークホルダーの説明があったが、行政も同様のことを心がけていると思うが、役割分担として、行政との関わりを、テーマによっては市民フォーラムが中心になっても良いと思うが、この課題を何とかしたいというのが出てきた時に、行政も地域や市民団体と同じような位置づけで考えているのか。色々な関係者が関わる時に、行政から声をかけた方が参加しやすいということもあると思う。具体的に考えているテーマなどがあれば。

⇒今これをやりたいというテーマがあるわけではなく、課題が出てきた時にどこに声をかけたらよいかということになると思う。例えば高齢者の問題であればその担当課に声をかける、声をかけるには市民活動係からお願いするか、その他得意な団体に声をかける。それを行うためには日ごろのネットワークを広くつながっておくということが必要なので、そちらが出来たうえで目指すべき形だが、その時々で声をかける先は決まってくるし、例えば同じ市民活動団体に声をかけると、この依頼はここに聞いたらという案も出てくる。その時々でそれを得意とする分野の人たちに声をかけて、一度集まっていたいて、私たちがそれぞれ声をかけて解決してくださいというのではなくて、集ま

っていただいて、そのファシリテーションを進行させていただいて、それぞれに意見を出し合って解決するという仕組み。まだまだこれからなので、これからは多様な問題に対して2者間では対応できない、ということもあるので、それを目指して日頃のネットワークづくりを進めていきたい。簡単なことではないと思うが、それ意識してネットワークづくりであるとか、行政の方ともつながっていききたい。

●ハウツウというか非常に活動自体がボランティア或いは団体に対してレベルアップなさい、我々が協力しますと、非常に良いことと思う。問題は、現実施策面で行政がやったことについて、例えば担当課に協働の面ではこうした方が良いとかいう提案があるのか。そのようにフォーラム自体が行政の施策について、こういうものが欠けている。そこまで言及するのか。あくまでも団体をやっていきたいと思いますということなのか。

⇒役割分担もあるかと思うが、協働を進めることは市の施策でもあるので、市民活動団体も協働の相手方として考えるためには、庁内の協働の意識の浸透もあるし、連携しやすい土壌というのは、行政側でやる必要があると思う。どちらかがこれを必ずしなければならぬということではなくケースバイケースで、色々な手法を駆使しながらやっていく必要があるが、団体が活性化すれば良いという訳ではなく、行政としてはそれを地域の力につなげていただきたいというのがあるので、あくまで行政の施策を絡めるとか、その方向性に行けるようにお互い連携して進めて行こうと思っている。

●今はボランティアセンターがある所の奥で仕事をされていて、その部署も交えて全てで市民活動・NP0 ボランティアセンターになるのか。

⇒市民活動交流館の一部がボランティアセンターになる。ボランティアに関しては、フォーラムとは別にボランティアネットワークシステムを社会福祉協議会にお願いしている部分があるので、そこだけ別になっているような感じがするが、実際窓口にお客さんが来られた時は、両方で連携して対応している。市民活動・ボランティアセンターというと、全部を指す。

●フットワークの軽さは、そうだと思う。これから市民フォーラムの方から出て行くとのことだが、それと人件費の問題との関わりはどのように考えているか。

⇒行政とし必要な経費は確保する必要があると思うが、全体の財政状況からも、できるだけ予算をかけない形でいくということで、双方協議している。行政職員だと8時半から5時までとなるが、フォーラムは、自分たちの活動もやりながら、必要な時間を業務にあてるということもできる。行政がやるよりも遥かに安価な経費でやれている。

●新しい提案が色々あるが、専門相談でもまだ知らない方が多いと思うので、1年目と2年目ではそれに要する時間やスタッフも違ってくると思うが、予算については1年毎に見直す、実績に基づいて次の年は協議して修正ということは考えられるのか。委託は4年間だが、事業費については各年度で見直して次年度に反映することは可能なのか。

⇒過去4年間も業務に合わせて毎年計算し直して、4年間は全然違っているのだから、それは今後も柔軟に取り組んでいく。

●協働化提案制度については、業務として市民活動団体に活動してもらうので、評価についても費用についても、最初から縮減しないといけないと、確かに市の予算も厳しいとい

うのは分かるが、それを市民団体だからといって抑えるということではなくて、協働で一緒にやっていって、市民活動の良さ、団体の良さを充実させたいということがあるので、そこはお互いに納得して、これは補助金ではなく委託事業なので、必要な経費は請求して良いと思うし、事業に対して必要であれば視察もできると思うし、担当課と十分協議してこの事業の目的に必要なだと思うことは、お互い協議し納得して進めていただきたい。

●予算書の中にコアスタッフ4人とあるが、これは固定か。

⇒固定している。

●1年をかけて4名の次世代人材を育成とあるが、この人たちの関わりは。この人材が育成されてうまく活用されているのかをお聞きしたい。

⇒十分、即戦力として業務を担ってもらっている。目指すところは専門性を持ったもった人材を、市民活動の中身を分かって一緒にやっていくということを目的としている。今日、その2人に発表いただいている。

●そうすると、人件費は厳しいのではないか。

⇒厳しいのは厳しい。固定給と時給であったりとか、どうしてもボランティアな部分というのは否めないが、それが負担になって活動が続けられないというのが一番悲しいことなので、そうならないようにきちんと働いた分の対価は気を付けて疲弊しないように、その分より多くの人に関わってほしいし、全て私たちが担うのではなく、一緒にやっている市民活動団体の中でボランティアの部分を担当いただくとか、そういうやり方も是非できたらと考えている。

～ 休 憩 ～

②総合審査

1、宗像市成人式事業

各委員の採点表に基づき審査

●不採択や付すべき条件もない。提案どおり採択とする。

●個別の意見等に関しては、答申にできるだけ反映させていただく。

●団体側非常に熱心であり、他自治体状況と比しても評価できる内容になっているのではないか。

2、市民活動・NP0 ボランティアセンターにおける市民活動支援並びに協働促進事業

各委員の採点表に基づき審査

●不採択や付すべき条件付きもない。提案どおりの内容で採択とする。

●若いスタッフの育成に期待している。

●新しい事業も多く、スタッフ体制や経費について精査が必要。市民活層の推進と市民への周知に効果があがることを期待している。

3. その他

(1) 答申までのスケジュール等について

会長から、11月4日までに原案を各委員にお示しする。

(2) その他

事務局から、任期満了について感謝の言葉。

事務局体制の変更等で大変ご迷惑をおかけしたと思う。現在、次期委員の選出を進めているところ。

任期後も若干の事務処理をお願いすることがあるかと思うので、よろしくお願いいたします。

= 散 会 =